

日本新三大夜景都市の認定について

この度、(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが、全国約 5,542 名の夜景鑑賞士による投票を実施した結果、“皿倉山(新日本三大夜景)”、“高塔山”、“足立公園”、“門司港レトロ展望室”、“小倉イルミネーション”、“戸畑祇園大山笠”と、6つの夜景遺産を有する本市が、長崎市、札幌市とともに、「日本新三大夜景都市」に認定され、「夜景サミット 2018 in 札幌」にて発表されました。

記

- ◇名称：日本新三大夜景都市
- ◇認定都市：北九州市、長崎市、札幌市
- ◇認定団体：一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューロー
- ◇認定授与式：「第10回 夜景サミット 2018 in 札幌」

日時：平成30年10月5日(金)

会場：北海道札幌市 道新ホール

出席者：産業経済局観光にぎわい部長 渡部誠司

※日本新三大夜景都市とは

(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが、国内外の夜景観光活性化を目指して全国の夜景鑑賞士による投票を実施し、投票された各夜景スポットを都市別に分類し、集計結果から上位三都市を『日本新三大夜景都市』と認定している。近年の夜間観光環境の急速な変化を鑑み、同認定は3年に一度、更新を行うこととしている。

(前回認定都市(2015年10月～2018年9月)：札幌市、神戸市、長崎市)

※夜景観賞士とは

日本夜景遺産事務局(事務局：(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー)が主催し、平成20年から実施している夜景に関する知識を問う検定の合格者。1、2、3級があり、夜景観賞士1級合格者は「夜景マイスター」とも称する。

※夜景遺産とは

夜景鑑賞士及び自治体・事業者からの推薦を受け、日本夜景遺産事務局による候補地の調査、夜景観賞士1級(夜景マイスター)による投票を経て選定される夜景。

自然夜景遺産、施設型夜景遺産、ライトアップ夜景遺産、歴史文化夜景遺産に分類されており、平成30年8月時点で全国で合計235か所が認定されている。

・本市の夜景遺産(6つ)

皿倉山、高塔山、足立公園、門司港レトロ展望室、小倉イルミネーション、戸畑祇園大山笠